まちづくりニュースレター

２０１９．３第２０号

公益財団法人　大阪府都市整備推進センター

まちづくり活動支援

募集予告！！！

２０１９年度まちづくり初動期活動サポート助成

当センターでは、大阪府域において地域住民が主体となった「まちづくりに係る初動期の活動」を支援するための助成を行っています。
　２０１９年度も下記のとおり募集を行う予定です。
ご関心のある方は当センターのホームページ、または、まちづくり支援室までお問い合わせ下さい。
http://www.toshiseibi.org/

◆募集内容公表：

[2019年4月初旬（2日頃）、ホームページに掲載します]

《助成対象活動》※対象活動支援範囲を拡充しております

○地区計画・建築協定・緑化協定などの「ルールづくり」を目指した活動
○土地区画整理等の「まちの形づくり」などを目指した活動
○防犯・防災・バリアフリーなどの「安全・安心なまちづくり」を目指した活動
○良好なまちなみ・景観の保全・生活道路整備などの「良好な住環境の保全・改善」を目指した活動
○空き店舗の活用やポケットパークの整備などの「街なかの再生」を目指した活動
○交通安全対策などの「交通環境・交通問題の改善・解消」を目指した活動
○大阪府及びその周辺を含めた各まちづくり活動につながる広域連携型のまちづくりを目指した活動
○商店街の活性化、地域資源の掘り起こし等賑わいづくり活動で、府や市の計画に位置づけがあり、地域の活性化・魅力向上につながる活動

《助成金額》

講習会、勉強会、視察等の意識啓発、まちづくり構想等作成等に必用な経費を助成
○はじめの一歩助成：限度額　10万円／１回　　合計2回を限度
○初動期活動助成　：限度額　50万円／１回　　合計3回を限度とし合計150万円を限度
　＊助成する団体数により予算の関係上、助成金が申請額を下回る場合があります。

◆事前相談受付　：2019年４月15日(月)～26日(金)予定
◆申 請 受 付　　：2019年５月７日(火)～15日(水) 予定
◆助 成 決 定　　：2019年６月下旬頃予定

土地区画整理事業

（祝）まちづくり完成！！
京都府久御山町佐山土地区画整理事業の換地処分が公告されました。

当地区は、主要地方道宇治淀線に接し、周辺部は市街化が進み、東側は住宅、西側は工業を中心とする市街地が形成されている地区でありました。
また、西側地区界に接して久御山南インターチェンジがあり、広域交通の利便性の高い地区でありました。
このようなことから、久御山町は良好な市街地環境の保全と形成を図るため策定した地区計画に基づき、都市機能の誘導を図るべく、道路や公園を配置し、公共施設計画に合わせて総合病院を誘致するとともに、営農環境にも配慮した集合農地区を設定した土地利用計画とされました。
振り返れば、2016年２月に組合設立認可を受け、３年余りの短い期間で換地処分を迎えられました。
今後、当地区が活力に溢れ、魅力ある「まち」として、将来にわたり発展することを祈念いたします。

密集市街地
まちづくり活動

■密集事業のスピードアップを図る新たな支援制度がスタートしております。
==「広場・緑地整備支援」の第1号が竣工しました！==

新たな支援制度のひとつとしてスタートしました「広場・緑地整備支援」を活用した広場緑地が市と地域の方々の協力のもと寝屋川市萱島東地区で3月完成し、供用開始されました。
当センターからは整備費の支援のほか、自治会が管理される場合管理費についても３年を限度に支援の予定です。

（従前）

（完成後）

カラー舗装、植栽、防災倉庫が設置されています

==「感震ブレーカー」が自治会単位で設置されました！==

地震の時、自動で電気を遮断できる「感震ブレーカー」を豊中市の島田西住宅会において、地域内世帯149戸のうち109戸の皆様が設置されました。
防災の備えの観点から、地震時の電気火災対策には、「感震ブレーカー」が効果的です。
当センターでは、自治会等が加入世帯のおおむね5割以上の世帯が設置される場合、2千円/個の助成を行っております。
また皆様の自治会へ出向き、どのようなものか実際の設置例の実演も行っております。
詳しくは、まちづくり支援室までお問合せください。

市町村職員技術研修

２０１９年度 市町村職員技術研修会のお知らせ

2019年度の市町村職員技術研修を、次のとおり開催します。この研修会では「気軽に受講できる技術研修」をコンセプトに基礎的な建設行政に係る知識を習得することを目的としています。研修に関する詳細な内容は、都市整備事業部研修担当までお問い合わせください
☎０６－６２６２－７６７０

■２０１９年度市町村職員技術研修会　年間実施計画表

開催予定日	研 修 会 名	研　修　内　容	コース	予定人員
６月6日	**土砂災害に気をつけよう！** **「土砂災害防止の入門講座**	①　ゲリラ豪雨による土砂災害と対策 ・豪雨による近年の土砂災害の事例・減災対策と避難方法 ②　大阪の土砂防災 ・大阪の地形地質概要・斜面の地質と地盤防災事例	午後	50
6月11日	**災害に備えよう** **「災害復旧・査定研修」**	①　災害復旧事業の概要と災害事務の流れ ②　災害復旧工法と査定のポイントについて	午後	50
７月17日	**都市整備行政の基礎講座** **「道路・街路＆まちづくり」**	① 道路・街路事業の基礎研修 ② まちづくり研修	午後	50
９月　4日	**測量の基礎講座** **「公共測量の基礎知識」**	① 公共測量におけるGNSS及びＴＳ基準点の実際 ② 公共測量成果品の品質確保	午後	50
10月９日	**地盤調査の基礎講座** **「地盤調査解説と** **支持力計算演習」**	① 地盤調査の基礎知識　・近年の地震、豪雨災害 ② 土質調査方法　・土質定数の考え方と支持力計算 ③ 直接基礎・杭基礎の支持力計算演習	１日	50
11月13日	**舗装の入門講座** **「舗装の設計・施工・補修」**	① アスファルト舗装の構造設計 ② アスファルト舗装の施工・施工管理 ③ 舗装の維持修繕と工法の選定	１日	50
12月4日	**やってみよう！構造設計** **「簡単な道路構造物（擁壁）** **設計」**	①「擁壁の設計と解説 擁壁の計画＆構造形式の解説と設計方法 ②「擁壁の設計演習」の構造、種類の解説 重力式擁壁等の安定計算の演習	1日	50
５月～10月 内４日間	New **ドローン活用研修** **「ドローン操作** **と３Ｄ測量」**	① 基礎学習（座学）　０．５日 ② 体験学習（操作）　０．５日 ③ 測量研修（操作・演習）　３．０日	4日	20

２０１９年度　新規研修（ドローン研修）の紹介

国土交通省では、2016年度からICT活用工事を全面的に推進しており、このためICT活用工事における調査・測量、設計、施工、検査のプロセスにおいて、3次元データによる基準を導入しております。
今後、市町村の建設現場においてもICT活用の一つとしてドローンを活用した調査・測量、設計等の導入が普及していく事から、市町村職員に向けた技術研修を企画しております。

１．ドローン活用の事例
（1）ドローン等による3次元測量
（2）3次元測量データによる設計・施工計画
（3）ＩCT建設機械による施工
（4）3次元測量を活用した検査
（5）インフラ点検（橋梁点検等）への活用
（6）まちづくりコーディネイト
（7）災害対策

２．当センターによるドローン研修計画の概要
半年間に渡り、ドローンの基礎学習から測量作業体験、3次元処理演習までを、延べ4日程度の研修として実施する予定です。

３．研修参加資格市町村
当センターと市町村道施設の維持管理業務の支援に関する協定を締結している市町村を対象に試行実施します。

４．研修実施計画の詳細は、別途対象市町村に通知します。

市町村道路
施設点検等支援事業

～2018年度　橋梁点検等研修の実施～

当センターでは、『市町村道路施設点検等支援事業』の一環として、支援依頼を受けた市町村の橋梁定期点検業務に併せて、橋梁点検に係わる技術研修を３段階に分けて実施しました。

2018年度は、基礎編として9月25日に「橋梁点検に係わる基礎研修」を、実施編として「トンネル点検現場研修」を11月５日に貝塚市のトンネルを始めとして「橋梁点検現地研修」等計４回実施しました。また、実施編２段階目として、「橋梁点検結果による診断・記録等研修」を2019年2月28日にマッセ・おおさかで実施しました。

この研修が市町村技術職員のスキルアップにつながるものと考えており、今後も支援の一環として継続して実施して参ります。

～2019年度　橋梁点検等研修計画～

2019年度においても、昨年度と同様に下記の研修を計画しております。
橋梁等の定期点検は第2クールに入ってきます。点検要領の見直し関係の状況も踏まえた研修計画にして参りますので、多数の研修参加をお願いします。

開催予定日	研 修 会 名	研　修　内　容	コース	予定人員
9月18日	**橋梁（鋼橋）維持補修 及び 橋梁等点検研修（第１段階）**	①　鋼橋の概要 ②　「鋼橋の損傷」と「鋼橋の補修・補強における積算留意点」 ③　橋梁の点検手法について ④　橋梁長寿命化計画について	１日	30
10月～12月	**橋梁等実地研修（第２段階）** **「橋梁及びトンネルの点検実地研修（数回実施）」**	①　コンクリート橋の点検実地研修 ②　鋼橋の点検実地研修 ③　トンネルの点検実地研修	午後	10／１回
1月22日	**橋梁（コンクリート協）維持補修 及び 橋梁等点検研修（第３段階）**	①　コンクリート橋の概要とコンクリートの劣化 ②　「コンクリート橋の維持・保全」と「補修・補強と事例」 ③　点検結果に基づく診断方法 ④　点検表記録様式について ⑤　損傷の要因と補修補強について	1日	30

発行　公益財団法人　大阪府都市整備推進センター　まちづくり支援室

〒541-0053　大阪市中央区本町1丁目8番12号　オーク堺筋本町ビル5階
電話番号:０６－６２６２－７７１３　　FAX 番号:０６－６２６２－７７２２
URL : http://ｗｗｗ.toshiseibi.org/　　E-mail : omsk@toshiseibi.org